

令和3年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：鳴門教育大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

幼稚園教諭二種免許状を有する者が約7割であることを鑑み、特に四国四県ならびに岡山県・和歌山県・淡路島を中心とした、幼児教育を担う幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一種免許状の取得の機会を提供することを目的とする。

(2) 事業概要

本事業は、徳島県教育委員会及び他大学とも連携を図り、幼稚園教諭免許法認定講習を実施するものである。対象となる地域の幼稚園・認定こども園・県教育委員会だけでなく、各県の私立幼稚園連盟にも事業のパンフレットを送付し、周知をはかる。事業の実施においては、幼稚園教諭の専門性向上のため、最新の知見に基づく、幼児教育実践に資する講習内容の科目を開講する。その際、理論と実践を往還的に学ぶためにも、鳴門教育大学附属幼稚園での演習等も科目の中で実施する予定である。実施時期は、受講生が受講しやすいように夏休みや土日を中心に開講する予定である。また、受講料を徴収する。事後アンケート調査を受講生だけでなく、各教育委員会や、私立幼稚園連盟に対しても実施する。

●実施日程

事業項目	実施日程
免許法認定申請	令和3年6月9日
受講者募集開始	令和3年6月12日
受講者募集締切	令和3年6月30日
講習受講者決定	令和3年7月19日
講習	
・ 幼児教育課程論	令和3年8月5日～6日
・ 保育内容総論	令和3年8月26日、29日
・ 教職論	令和3年9月25日～26日
・ 保育内容（言葉）	令和3年10月9日～10日
・ 教育相談論	令和3年10月30日～31日
・ 保育内容（環境）	令和3年11月13日～14日
・ 教育心理学（発達心理を含む。）	令和3年11月20日～21日
・ 幼児と環境	令和3年11月25日、28日
・ 幼児理解と保育実践の心理学	令和3年12月4日～5日
・ 幼児と人間関係	令和3年12月11日～12日
単位修得証明書発送	令和3年1月13日
実施委員会開催	令和3年1月26日

免許法実施報告 成果報告書作成	令和3年2月9日 令和3年3月2日
--------------------	----------------------

(3) 成果（事業の実績の説明）

幼稚園教諭二種免許状を有する者を対象に、幼児教育を担う幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一種免許状の取得の機会を提供するために、「鳴門教育大学幼稚園教諭免許法認定講習」を開設し、10科目10単位を講義や演習科目として開講した。

	科目名	実施方法	単位数	定員	受講者数	単位取得者数	上進者数
領域に関する専門的事項に関する科目	幼児と人間関係	対面	1	20	15	15	10 (注)
	幼児と環境	1日目:対面 2日目:オンライン	1	20	9	9	
保育内容の指導法	保育内容(環境)	1日目:対面 2日目:オンライン	1	20	9	9	
	保育内容(言葉)	オンライン	1	30	13	13	
	保育内容総論	オンライン	1	20	12	12	
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学(発達心理を含む。)	対面	1	20	11	11	
	教職論	オンライン	1	30	10	10	
	幼児教育課程論	オンライン	1	30	10	10	
道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	教育相談論	オンライン	1	30	11	11	
	幼児理解と保育実践の心理学	オンライン	1	30	10	10	

(注) 上進者数は、3月4日時点での「学力に関する証明書」発行者数

受講料は1単位5,000円とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインと対面を併用して講習を実施した。定員は対面講習20名、オンライン講習30名としたが、どの科目においても定員を満たすことができなかった。その理由の一つとしては、前年度、受講料を無料で実施したが今年度は5,000円としたため、ということが挙げられる。受講者に周知と理解を求める必要がある。また、受講者による事後アンケートでは、オンライン授業に対する好意的な意見や学びの効果についてプラスの意見が多数見られた。しかし、申し込み段階でオンライン授業に対する困難感があるのかもしれない、広報用パンフレット等でオンライン授業の利便性と効果について丁寧に説明する必要がある。

(4) 今後の課題・展望

今年度は、幼稚園教諭が受講しやすい夏休みを加えた8月～12月の予定で講習を実施した。

来年度は、7月から講習を開始できる体制を整えるとともに、引き続き、鳴門教育大学附属幼稚園での幼児教育実践をふまえた演習を実施するとともに、受講生の便宜をはかり、感染症対策としても有効なオンラインによる講習開催も実施する。